

平成26年3月の「きになる通信」

シェアハウス間口広く — 音楽・ゴルフ仲間集う

疑似家族で安心感



居間などを入居者が共有するシェアハウスが多彩になってきました。

ゴルフや音楽などの趣味に加えて、ひとり親だけが集まる物件も相次ぎ開設。賃料は周辺相場に比べて同程度です。利便性だけでなく、一つ屋根の下で暮らす疑似家族のような楽しさや安心感が人気の背景にあります。

特徴あるシェアハウスが増えている

ゴルフ愛好者向け 音楽愛好者向け 子育て支援

※シェアハウス：戸建住宅などを複数の人が共有して暮らせるようにした賃貸住宅。生活費は総じて1人で暮らすよりも抑えられる。一般的には、それぞれの個室が用意され、居間やキッチンなどを共有して生活する。

(2014年2月19日 日本経済新聞記事から抜粋)

空き家持ち主1割が放置 — 国交省調査 「遠い」「費用かかる」

賃貸・売買促す指針作成へ



空き家を所有している人の1割強が、郵便物のチェックや防犯状況の確認など、空き家の管理を日ごろしていないことが国土交通省の調査でわかりました。

居住地から遠くにあり、管理が難しいことなどが理由。

同省は「不審者が侵入したり、不審火が起きたりする恐れもある」と危惧。今春にも賃貸をしやすくするなど、空き家解消に向けた指針をまとめる方針です。

(2014年2月20日 日本経済新聞記事から抜粋)